



2025年5月7日  
コスモエネルギーホールディングス株式会社  
コスモ石油株式会社  
コスモ石油マーケティング株式会社

大規模生産による国産 SAF を関西国際空港発の JAL 旅客便に初供給  
～コスモエネルギーグループの SAF で世界の空へ初フライト～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）、コスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹）は、廃食用油を原料とした国内初の大規模生産による国産 SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）を、5月1日に関西国際空港において、日本航空株式会社が運航する旅客便（JL891 便、関西発上海〈浦東〉行）に初めて供給したことをお知らせします（※1）。関西国際空港における旅客便への SAF 供給は今回が初めてです。コスモエネルギーグループが手掛ける国産 SAF が旅客便で活用され、航空会社ならびに搭乗するお客様の脱炭素に貢献するとともに、国内における SAF の継続的なサプライチェーンが構築されたことは、空の脱炭素の推進において重要な一歩となります。



SAF 初供給の対象機となった  
「JAL ミャクミャク JET」  
（提供：日本航空株式会社）



SAF 製造装置（コスモ石油堺製油所内）  
（提供：合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY）

このたび供給した SAF は、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され（※2）取り組んできたものであり、国内で初めて大規模生産される国産 SAF です。持続可能な製品の国際的な認証制度「ISCC CORSIA 認証」「ISCC EU 認証」を取得しており（※3）、環境価値が証明されています。コスモ石油、日揮ホールディングス

株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也）の3社により設立された合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志）が製造し、2025年度よりコスモエネルギーグループを通じて航空各社に供給します。今回、旅客便への供給が実現したことで国産 SAF のサプライチェーンが本格始動しました。

コスモエネルギーグループは「2050年カーボンネットゼロ」をめざし、日本初の国産 SAF 供給に向けてサプライチェーン構築を進めてまいりました。今後も、脱炭素化や循環型社会の実現を重要なテーマと認識し、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざすとともに、引き続き航空輸送における SAF 利用を推進し、資源循環とサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

※1 2025年1月27日プレスリリース

「コスモエネルギーグループ、2025年度より国内エアライン向けに国産 SAF を供給」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250127-01.html>

※2 NEDO ウェブサイト [https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)

※3 2024年12月13日プレスリリース

「ISCC CORSIA 及び ISCC EU 認証(国際持続可能性カーボン認証)の取得について」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html>

以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 蒔田、横山

cosmo\_pr@cosmo-oil.co.jp